

調査速報

メキシコ自動車市場月次統計（2016年12月）

米新政権の通商政策の詳細発表を待たずして、メキシコ自動車産業が直面する壁は既に相当分厚いものとなっている

主任研究員
深尾 三四郎
045-225-2375
fukao@yokohama-ri.co.jp

要約

- 16年12月メキシコ自動車生産台数（季調値）は前月比8.2%増の年率380万台。内外需が共に増加。
- 16年総生産台数は前年比2.0%増の347万台と7年連続で過去最高記録を更新し好調。
- 17年は暗転。メキシコ国内のインフレと雇用見通しの悪化、米新車市場の頭打ちがトリプルパンチに。

2016年メキシコ自動車生産台数は前年比2.0%増の347万台：国内販売の増加が増産の原動力に

メキシコ自動車工業会（Asociación Mexicana de la Industria Automotriz）が発表した2016年12月の総生産台数は、前年同月比8.8%増と7か月連続で前年超えし、季節調整済年率換算値（当社試算、以下SAAR）は前月比8.2%増の380万台と大きく増加した。SAARの3か月後方移動平均値でみたトレンドは4か月ぶりに増加に転じた（図表1）。

12月の総輸出台数は前年同月比4.8%増と5か月連続で増加した。輸出台数のSAARも前月比7.1%増の299万台と大幅増となり、SAARの3か月後方移動平均値も前月比で増加に転じた。（図表2）。

一方、メキシコの主要輸出国である米国の12月の新車販売台数（SAAR）は前月比1.7%減の1,785万台（弊社試算）と頭打ちした（図表3）。大手自動車メーカーの販売奨励金が高水準で推移しており、競争激化を背景に需要の脆弱性は強まっている。

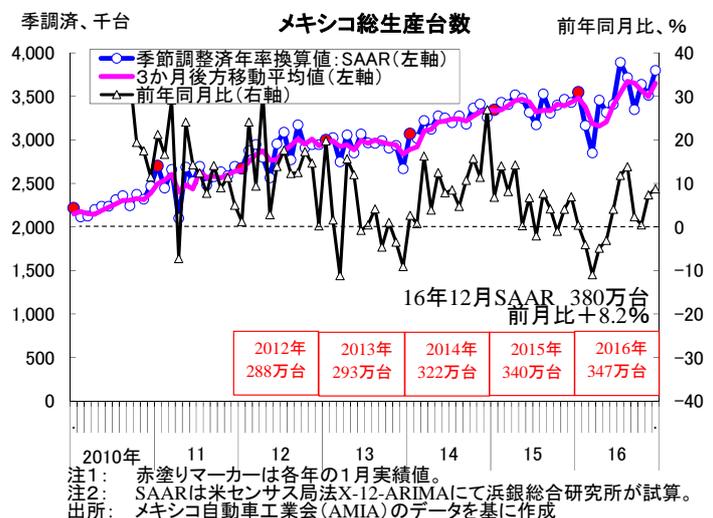
メキシコの12月の総販売台数は前年同月比19.9%増と32か月連続でプラスとなり、SAARも前月比3.2%増の170万台と3か月ぶりに増加した（図表4）。もっとも、国内販売は高水準を維持しているものの、16年後半に入ってから一進一退の推移で、浮揚感に乏しい状況が続いている。

16年の総生産台数は347万台（前年比2.0%増）、総輸出台数は277万台（同0.3%増）といずれも7年連続で過去最高を記録し、総販売台数は160万台（同18.6%増）と3年連続の記録更新となった（図表5）。

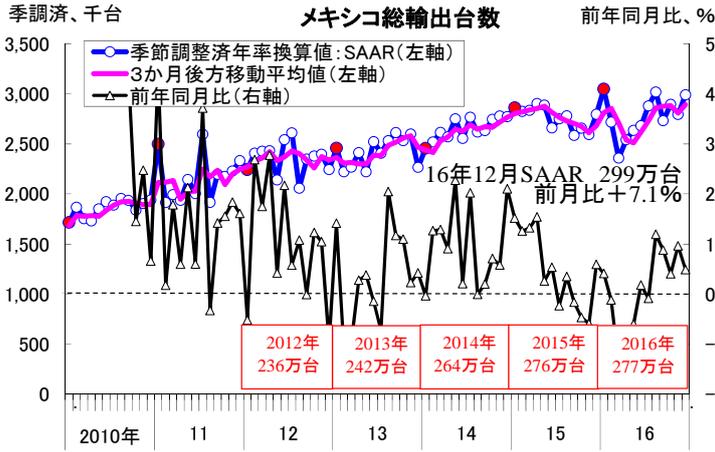
16年のメキシコ自動車市場は好調であったが、17年は暗転しよう。ペソ安を起因としたガソリンや主食トルティーヤの価格高騰（とそれに伴う治安の悪化）、海外企業のメキシコ投資計画の撤回など方針転換による雇用見通しの悪化が国内自動車需要に冷や水を浴びせることに加え、米国新車市場が頭打ちしている

ことがメキシコからの自動車輸出への下方圧力となる、といった数多くのリスクに晒されるからだ。ランプ米新大統領の就任前で、保護主義的な通商政策の詳細が定かではないが、それを除いてもメキシコ自動車産業が直面する壁は既に相当分厚いものとなっている。これから新年度予算の策定期となる日本の自動車関連企業では、次年度予算にメキシコ関連の新規投資案件を盛り込むことは難しい状況にあると言える。

図表1 16年12月生産台数（SAAR）は前月比増加

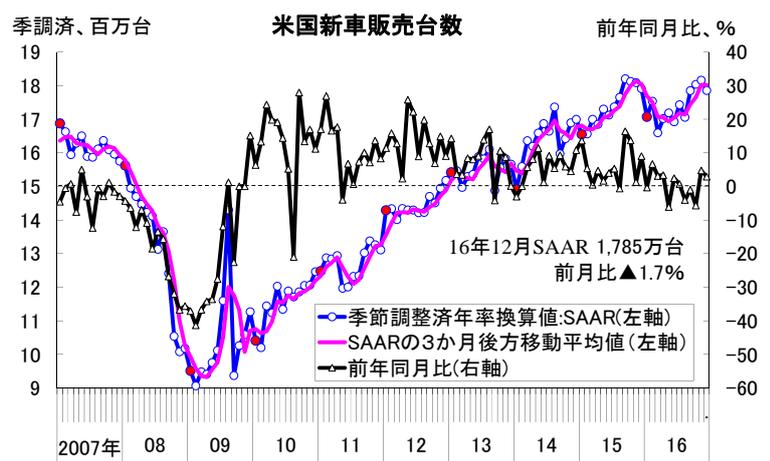


図表2 12月輸出台数 (SAAR) が増加



注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。
注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。
出所: メキシコ自動車工業会 (AMIA) のデータを基に作成

図表3 米国新車販売 (SAAR) は減少



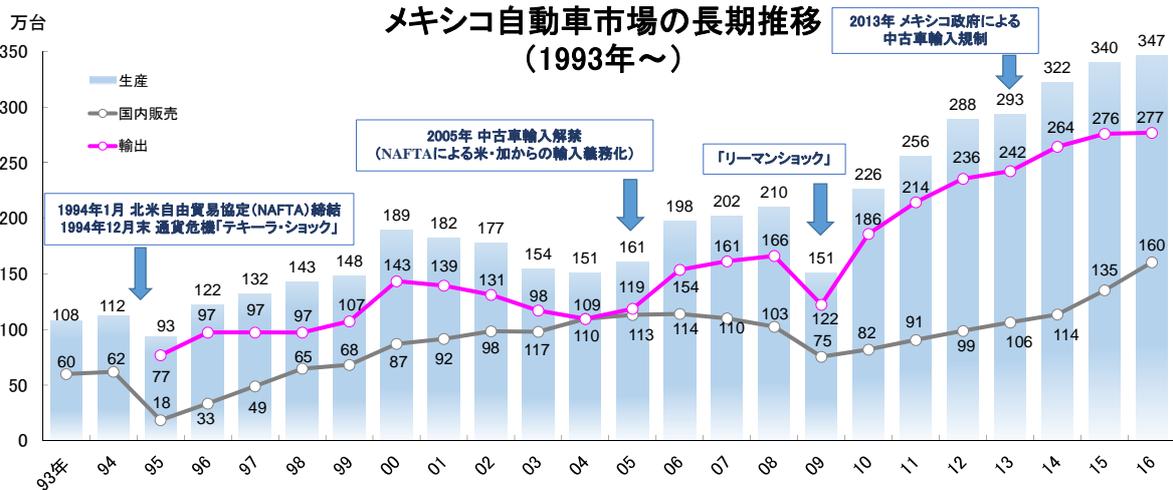
注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。
注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。
出所: Autodata, Bloombergのデータより作成

図表4 メキシコ国内販売台数 (SAAR) も前月比増加



注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。
注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。
出所: メキシコ自動車工業会 (AMIA) のデータを基に作成

図表5 メキシコ自動車生産台数は7年連続で過去最高記録を更新



出所: メキシコ自動車工業会 (AMIA) のデータを基に浜銀総合研究所が作成

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。